

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
1	R2.8.19牧区	福島県矢祭町では結婚支援室を設け、結婚祝金20万を出している。また、子ども3人目には100万、4人目には150万円の一時金を払っている。財源は、町長や収入役などの幹部も課長級にし、職員も4割削減した。議員も1日3万円の日当制としている。	今後の議会活動の参考とさせていただく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
2	R2.8.19牧区	市内の中山間地は子どもの著しい減少という同じ悩みを抱えている。この地を愛する次世代の人がおらず、不安感がある。新型コロナウイルスにより、一層過疎化が加速するのではという心配がある。ふるさとが大事であり、ぜひ立派な郷土、街にしたい。（要望）	当市は、社会減が多く、都会の大学から戻ってこようとしても働く場所がない。子育て施策もきちんとやっているが、それでも減っている。人口減少対策特別委員会でも一丸となって議論していく。移住定住も重要だが、継承者がいなければ一過性になる。「地域にあるいいもの」を見つけ、地域の人達がいなくなるようにすることが大事。議会としても考えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
3	R2.8.23大潟区	少子高齢化や人口減少、地震災害など、これから様々なことが起こり得る可能性がある。災害等で、地方分散化が進む可能性もあるので、上越市はチャンスではないか。今後考えられるリスクの分散化として、東京一極集中にならないよう市でもアイデアや工夫を出してほしい。	議会でも数年前から人口減少対策特別委員会を設置し、その中では、1つや2つの施策で十分な効果は期待できないと分かった。高校卒業後に転出した3分の2は帰ってこない。上越市定住促進奨学金など、定住を促進する施策はあるが、人口増につながる結果には至ってない。どんな施策が必要なのか、行政の監視はもちろん、議会としてもしっかりと取り組んでいきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
4	R2.8.24合併前上越	上越市は様々な面で恵まれているのに、「人が生きる住みよいまちづくり」のブランドデザインがなく、何をやりたいのか、どう活かしていくかという方向性が全く見えてこない。人口減少と言いつつ、コロナ禍で上越に帰ってきた人たちを迎える体制がない。アフターコロナでは地方回帰が進むと思うが、リモートワークする人を増やすなら、体制を整えるのに時間がかかるので、今から真剣に考えて勉強してほしい。（意見）	意見として承り、議会活動に活かしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
5	R2.8.24合併前上越	人口減少は止められないが、減少を緩やかにすることはできる。光回線を街にひくなど、それくらい大きな投資をしなければならない。歳入が減るので、議会も市と一緒に真剣になって取り組み、今から戦略を持ってやって欲しい。	9月に人口減少対策特別委員会が立ち上がる。これまでも真剣に取り組んできたが、要望として承り、議会活動に活かしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
6	R2. 8. 24合 併前上越	人口減少問題の原因は、人の暮らしが豊かになり、都会に行き、一度出たら戻らないからだと思う。状況は深刻である。重要なのは「愛郷心」などの意識の涵養であり、人の考え方を変えていく必要がある。（意見）	意見としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
7	R2. 8. 23大 潟区	コロナ禍でホテルや飲食店の売上がかなり減っている。廃業に追い込まれたり、または新しい生活様式を取り入れた今までにない形でサービス提供をしたりと非常に大変な状況である。この状況を受けて、消費税が増税されるのではないかと不安である。	議員の個々による聞き取りや意見交換会を通して市内の経済状況は理解しており、必要な支援策は新型コロナウイルス感染症対策に関する提言にも盛り込んだ。国からは持続化給付金が助成され、足りない分は市で独自の対策として事業者応援給付金等の様々な経済対策を行っている。また、市では感染予防のために行う改装工事費の助成なども行っている。不安な点があれば、ぜひ議会に教えて欲しい。市民の声をしっかり受け止め、市へ提言していきたい。なお、消費税は国の問題であると考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
8	R2. 8. 24合 併前上越	今回のコロナ禍において、財政調整金が100億ある。市独自の具体的な対策が見えてこず、目に見える政策はプレミアム商品券とGIGAスクールである。プレミアム商品券はすぐに売りきれた。議員はそうした現実を見ているのか？市もテレワークの場所を提供するなど目新しい独自の施策を実行して欲しい。	財政調整基金は財政計画に則って使われており、今100億あるが、令和4年度に50億しか残らない。市は苦しい中で新型コロナウイルス対策に16億使っている。ただ、今回のコロナ禍の中でこそ積極的に使うべきという考えは議員の中にもある。今、市民としてもっとというご意見があったとしっかりと受け止め、9月定例会に臨んでいく。市も独自の支援策・経済対策を講じ、7月議会の補正で、新型コロナウイルス経済対策費として8億3千万円を使っている。主としては事業者応援給付金で、国の支援が行き届かない部分を補っている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
9	R2. 8. 19牧 区	新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるが、病院の確保は今後どのような方向性か。	県の指導の下、今も確保のために動いている。当議会における新型コロナウイルス調査対策特別委員会でも様々な支援について協議している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
10	R2.8.20大島区	消火栓脇のホース格納ボックスについて、消火栓までは市が負担してくれるが、ホースや格納ボックスの維持管理は町内会の負担である。それはおかしいと思い、地域協議会でも質問したが、全市統一した考え方との答弁で愕然とした。小さな町内会にとっては特に負担が大きいので、市の予算で対応してほしい。	ホース格納庫などの全てを町内会に負担させるのは酷だと思うが、地域にホース等が設置された経緯も把握した上で、どこで線を引くのか検討する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
11	R2.8.20大島区	消防団員のヘルメットは、消防の予算で購入している状況にある。市へ要望を出しても買ってもらえなかった。まだ大島村と書いてあるヘルメットもたくさんあるので、防災の面でも市の予算で購入してほしい。団員の士気にも影響する。	ヘルメットが消防団の標準装備に入っていないのではないかと。もし入っていないのであれば、声を上げていかななくてはならないと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
12	R2.8.20大島区	負担金として、年に2,000円を消防団へ、年に1,000円を部へ支払っている。この負担金は全市同じであるのか。議会として全市の実態を把握しているのか。地域格差がないようにしてほしい。	13区と合併前上越市での違いがあるのではないかと。世帯数が少ないところで維持していくのは大変である。まずは消防団の会計を精査し、それでも足りないのであれば、市の予算を付ける等の検討をすることも必要ではないかと。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
13	R2.8.20大島区	4月から広報じょうえつが月1回の発行になったが、苦情等の情報はあるか。	苦情等は直接市民からは聞いていない。町内会から配り物が多いという話もあり、経費節減にもなると市が判断したものである。皆さんに不便のないようにやっていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
14	R2.8.20大島区	町内会長の報酬が減になる問題一つをとっても、その経緯について市民には何の情報も知らされていない。ホームページは自分から見に行かないと見られない。広報じょうえつが届くまで10日ほどかかるため、先の情報しか載せられない。議会としてしっかり検証してほしい。	今後、皆さんの意見を行政に届けていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
15	R2. 8. 19牧区	地域活性化のため、ふるさと納税の活用を検討してほしい。	当市は良い品物を返礼品としてふるさと納税を増やすという考えではやっていない。委員会等の中で、地域の産品を返礼品にしてはという意見もあったが、市の基本的な姿勢としては、返礼品でふるさと納税を集めるという方向ではない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
16	R2. 8. 23大湊区	現在のハザードマップには、京都大学の防災研究所が津波などで浸水されると言われる三ツ屋浜と中央海岸が避難区域として指定されており、これは明らかな間違いである。危機管理課へ意見をしているが取り次いでもらえていない。	ハザードマップは今年度改訂の予定である。総務常任委員会で危機管理課へ事実関係を確認した上で、ハザードマップに間違いがあれば修正するよう伝える。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：総務 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	※回答は、下段に記載します。
NO. 16に対する委員会等の対応協議結果等 「ハザードマップが正しくない」とご指摘いただきましたが、確かに県が公表している浸水想定と当市の既存のハザードマップに相違があることを確認しました。その後、市と話し合いを行ったところ、「県からの変更を受け、今年度中に各地域でワークショップを開き、説明・調整したのち、改訂版を早急に出したい。コロナ禍の影響を受け3月の途中から一時中断していたワークショップを11月から再開したところであり、年度内には最新版を発行したい」旨確認しました。迅速性についてご懸念もおありかと思いますが、できる限りの中で取り組んでおりますのでご理解ください。 同じく「頸北の一部地域で、県想定浸水深に比して低い地域で浸水しないとしているのはおかしい」とのご指摘について、市と話し合い、「県の新想定では、三ツ屋浜などの地域は、8メートル前後の高い砂丘列があるため、津波が超えて当該地域に浸水することはないと分析されている。更に、専門家に委託して行った想定分析や現地踏査において、現地を見ていただいた結果でも、海岸につながる排水管は口径が小さいことから、逆流し浸水してもその範囲は限定的であると推定されるのとことであつた」としています。 市議会としては、専門的知見を持ち合わせておらず、いずれが正しいか判断が難しいところですが、この度のご意見及びご指摘は、地域からの視点として重く傾聴すべきことであると考えます。市は「自助の観点から、日頃から住民が地域における災害を想定し避難行動を検討することは大切なことであり、当部としても最大限支援してまいりたい」と述べています。市議会といたしましても同様に考えており、行政に対し、今後とも地域住民の皆さまのご意見も拝聴し、安心と安全の確保に一層努めるよう促してまいります。 独自の細かな検証をもとにご指摘くださったことに最大限の敬意を表し、これからも地域の皆さまとともに防災を考えてまいります所存です。【R2. 12. 18課題調整会議了】					
17	R2. 8. 19牧区	公共交通の市営バスについて、牧や安塚では一律200円の市営バスを走らせているが、浦川原は東頸バスを利用しており、運賃が高い。不公平ではないか。そういう実態や各区の実情で運行していると思うが、状況はどうか。	各区による金額や運行方法が違う点は調べてお返しする。公共交通はお金がかかっており、中山間地では人があまり乗らないという問題もある。三和では利便性を図ったデマンド方式などの取組を行っている。費用対効果のある方法を議論しているが、地域協議会等で意見があればぜひ市に伝えていただきたい。公共交通計画が昨年度に策定され、パブリックコメントや地元への説明をしてきた。現在は計画の中で事業を実施しており、今後も時期を見て見直ししていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
18	R2.8.19牧区	今年4月から市の宿日直の委託がなくなり、牧振興会の収入が減り、存続の危機にある。会費は各区の中で一番高く、上げにくい。振興会に対する新たな委託事業、例えば市道や林道の草刈などをお願いしたい。祭りなどは補助金が頼りで、地域活性化のために何とかして欲しい。	要望として承る。今の市の財政の歳入では今後足りなくなる。皆さんへの基本的なサービスを守るために、色々なところを切り詰めている。財政調整基金は、令和4年で今の半分になり、災害の備えにも必要となる。自分の町で賄える部分はお願ひし、どうしてもこれだけというものは要望として出してほしい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
19	R2.8.20大島区	町内会長の仕事で事故に遭った場合の補償がない。草刈りや脚立に登っての高所作業など危険な業務も多い。安心感を持って町内会の役員を引き受けられるようにしてほしい。	町内会長はいろいろな活動をしているので補償がないと不安だというのは理解できる。町内会に入れる傷害保険があり、それに加入していたところもある。町内会は市とは別の組織のため、市費の投入は難しい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
20	R2.8.20大島区	地域協議会は地域活動支援事業の使い方について協議している。議員も地域協議会を傍聴し、参考にしてほしい。	新型コロナ対策特別委員会などに見られるように、上越市議会は議員間討議が活発化してきており、地域協議会や市民の皆さんとも一緒に考えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
21	R2.8.23大潟区	総合事務所の時間外受付が見直され、令和2年4月から大潟区総合事務所に宿直が配置されなくなった。見直し後、議会で検証は行われたか。もしくは、今後する予定はあるか。	議会として検証はしていない。9月定例会は、決算議会であり、市の全事業の洗い出しがあるので、時間外受付の見直しに伴う支障があれば議会としても取り上げていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
22	R2.8.24合併前上越	旧師団長官舎の活用方法として、フランス料理店となったが、現在閉まっている。それで良いのか。雪国のことや歴史のことを子どもたちが学ぶ博物館として活用できないのか。	在り方をかなり検討してきた。「保存から活用へ」という流れの中で、市民や団体等から様々な提案を受け、本体を損なわない形で一部をレストランとして活用することになり、3月議会でも承認している。雪国や歴史のことは博物館や日本スキー発祥記念館もある。選定された事業者が、オープンの時期等判断をしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
23	R2.8.19牧区	牧の保育園の園児が大幅に減り、今年度の入園はゼロだった。市の少子化対策は何をやっているのか。	当市の子育て環境について、ひとり親世帯や減収家庭への生活に寄り添うための給付事業は手当を厚くしている。少子化対策についても、人口減少対策特別委員会で協議していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：人口減少対策） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
24	R2.8.19牧区	少子化という現状の中で、保育園舎の屋上の防水工事や駐車場の舗装工事を行った。元々計画されていたのだと思うが、お金がないと言いながら、今すべき工事なのか疑問である。	施設の維持修繕は、子どもが少なくなったからといっても、安全性を配慮し、きちんとした環境でなければということである。保育園等が存続する限り実施する必要はある。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
25	R2.8.23大潟区	老人クラブの補助金をもらうために8通もの申請書類がある。高齢者にとって、これらの作成は非常に困難であり、補助金申請をあきらめるケースもある。補助金の用途にも縛りがあり、健康・福祉・友愛の3つに関する行事に利用され、全額、または全額以上利用しなければ、補助金を返さなければならない。きちんとした用途に使用されていれば、このような縛りは必要ないのではないかと思う。	老人クラブへの加入者も少なく、運営も大変であるという現状は理解しているが、補助金申請に必要な書類が多く、複雑ということは理解していなかった。9月定例会で話し合っていけるよう対応したい。また、補助金申請について、市にも内容を細かく確認し、工夫して対応できるものであれば、ご意見の主旨に沿って市へ働きかけるよう対応していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
26	R2.8.24合併前上越	不妊治療は妙高市のほうが手厚い。子どもは2人目からという補助が多いが、1人目が一番大変である。1人目から支援してほしい。（意見）	意見として承り、議会活動に活かしていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：人口減少対策） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
27	R2.8.19牧区	4月の市議選候補者の中で、食の安全を訴えた人がいない。子どもを健やかに育てるまたは、医療的な問題のためにも食品添加物や残留農薬、ポストハーベストなど、食の安全は重要なので、もう少し目を向けてほしい。	食の安心・安全についてはしっかりやっていきたい。当市の食に関して、農薬などに気を付けている。また、道路際の除草の際も、除草剤をまかず、草を刈るという決まりになっており、安全・安心に配慮している。食の問題に関しては今後も委員会で検討していく。一般質問等で食育や食の安全も質問するなどしている。今後も気を引き締めていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
28	R2.8.19牧区	上越はとても道路が良いと思ったので、もっと産業や観光に有効活用できないか。例えば国道405号線は沿線付近に宿泊施設があり、少し行けば深山荘もある。それらを活用できないか。市や議会だけでなく、住民の皆さんも考えて欲しい。道路周辺の景観という視点で、自然環境整備に力を入れて欲しい。	まだ道路整備はできていると思っている。現在、県と一緒に国道405号線整備促進期成同盟会を立ち上げ、様々な要望をしている。道路を活かした取組もセットになると思う。道路整備を含め、市に伝えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
29	R2.8.20大島区	大島区は人口が少なく、人口減少を懸念している。上越魚沼地域振興快速道路建設の進捗状況はどうか。	鶴町～寺までは開通済み。大島～十日町までは県に要望を出している。実態調査から、早く予算を付けてもらいたいと要望している。これからも市民の意見をしっかりと伝えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
30	R2.8.20大島区	大島区細越に約65メートルの歩道が県道を挟んであるが、のり面の基礎の部分の針金が出ているような状態である。数年前から要望を出しているが、何とかしてほしい。	大変危険な箇所である。要望を出しても予算的な部分で難しかったのではないかと。今後しっかりと調査して、定例会等で審議したい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
31	R2.8.23大潟区	上越魚沼地域振興快速道路は、市内から浦川原まで着々と工事が進んでいる。しかし、安塚、大島、十日町区間では予定どころか全く計画もされていない状態である。国道253号は、関東と日本海側をつなぐ大事な流通道路であるが、夏の地滑り、冬の雪崩などの災害も想定される。早急に上越魚沼地域振興快速道路をつなげる努力をするべきではないか。議会として積極的に国や県に働きかけてほしい。	合併前上越地区で上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会があるので、ご意見について積極的に陳情活動を行っていきよう働きかけたい。例えば、新井柿崎線整備促進議員連盟や保倉川放水路整備促進議員連盟など、全市議もそれぞれの問題について積極的な改善活動に取り組み、年に一度、国や県など関係各所への陳情により働きかけをしている。それぞれの活動が見えにくい部分があると思うので、これらの活動も積極的に周知していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
32	R2.8.23大潟区	ジムリーナやオーレンプラザなどの大型の設備投資よりも、市民生活に直結するような市道の改修の方がより大事ではないか。来年の予算では、市民生活に直結するような工事を進めて欲しい。	市では、道路整備計画に基づき、町内からの道路修繕要望など、優先順位をつけて5年間で計画的に整備を進めている。予算の限りがあるため、すぐに全て修繕されるものではないが、必要な修繕箇所は市にしっかりと要望を挙げてほしい。また、必要であれば議員にも伝えて欲しい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
33	R2.8.24合併前上越	昭和30年代に策定された東城町3丁目の都市計画道路は手が入れられておらず、道幅が狭いため、緊急時に対応できない。幹線道路をもう1本作ってほしい。財政的な問題があるのは知っているが、議会からも市に伝えてほしい。	市の道路整備計画が令和2年度から令和6年度で進められている。今後この路線については調査設計を行って着手をするとのこと。現在、側溝改良は入っているが拡幅は入っていない。一部の都市計画道路の計画は残っている。要望としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
34	R2.8.24合併前上越	お堀から稲田の排水機場への直結はいつ頃になるのか。東城3丁目は8月1日の集中豪雨において、1時間の降雨で30cm位の冠水となり、西城町も冠水した。排水機場にはあまり水がきていなかったのに、排水路に問題がある。高田公園周辺の水が、バックウォーター現象で流れず、全て東城町3丁目に来る。この排水路で良いのか聞きたい。	平成30年度の所管事務調査で雨水管理総合計画を調査した。有田と鴨島の2か所は既に調査し、特定された。必要な個所が提示できるのであれば、市に伝えてほしい。今後必要な個所は調査対策を行うため、雨水管理総合計画への反映が必要である。今後も注視していく。北城高校前の排水バイパスは令和6年度完成を目途に改修中であり、東城3丁目に入ってくる水は、北城の排水バイパス完成により軽減が図られる予定。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
35	R2.8.24合併前上越	排水機場の管理を市から当町内に委託されている。少しでも雨が降ると排水機場がパンクするが、問題となっているのは、排水機場にポンプが3台入っているのに、2台しかないことである。これでは昨今の激しい降雨には対応できない。ポンプを3台にできるように国に働きかけて欲しい。	昨年9月に関係町内会長・関係者の方々と国交省に陳情した。国の見解は、「上越市も内水問題に本腰を入れてきており、国交省としても同時進行で取り組んでいく」とのことだった。市も国交省に要請している。引き続き国に働きかけていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
36	R2.8.24合併前上越	高田の排水機場の3台目のポンプ設置に国交省から予算がつけられないことは課題である。排水路を先行して整備しても排水機場の能力がそのままであればむしろ状況は悪くなる。地域協議会と市議会でタッグを組んで要望していけないのか。	要望として承り、議会活動に活かしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
37	R2.8.19牧区	森林環境譲与税について、当市も数千万円のお金が入る。本来の山林整備や中山間地活性化等に使うよう市に伝えてほしい。	昔は木が製品になったが木の価値が下がり、山林が荒れている。森林環境譲与税は森林整備のための税であるため、しっかり活かしていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	



令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
38	R2. 8. 19牧区	中山間地のコメ作りは農業従事者が減っているが、中山間地のほ場整備は重要である。個人や少人数では難しいため、手当をつける、あるいは、中山間地の整備をしていただき、少人数でも可能な農業体制を作ってほしい。	棚田の守り手や、コメ作りの担い手不足という問題はある。手を挙げれば、ほ場整備ができる体制は取っているが、少人数では手を挙げてもらえない状況である。様々な補助金があり、どんな小さなことでも補助金がある可能性はあるので、相談してほしい。ご意見は委員会内で協議していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：農政建設） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	委員会等で協議した結果、当日の回答に加え、今後も農業従事者や農地の現状を把握するとともに、国・県との連携も含め、当委員会の課題として、各委員の共有課題としていくこととする。
39	R2. 8. 19牧区	イタヤカエデを植え、メイプルシロップを作っている。メイプルシロップの産品の町にしたい。30年すれば、樹液が取れるようにもなり、収入にもつながる。こういった長期の取組に対して将来の産品に向けた補助金を出して貰えれば、やる人達が増えてくれると思う。市は木を植えるとなると、業者に頼んでしまうが、地域の人達に補助金として出してほしい。	地場産品の育成は大事であり、助成制度については、要望として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
40	R2. 8. 23大潟区	自分が趣味で育てている畑ですら、カラスやハクビシン、タヌキに野菜が盗られてしまう。一所懸命、畑や田んぼを守ろうとする農業の人に助成する手立てはないのか。	鳥獣被害について、3戸以上の農業者で組織される団体に対し、電気柵の設置を補助している。個人の畑は、申請しても農業者ではないという判断で却下される現状であり、個人の畑を守るような支援制度はない。ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
41	R2. 8. 23大潟区	不在者地主があちこち増え、そういった土地がかなり荒れている。改善方法について検討して欲しい。	意見としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
42	R2. 8. 23大潟区	公共下水道について、近隣で何件か接続していない家庭があり、臭いで困っており、夏場は臭いが辛い。その人に話をしても、期限もなく条例等で罰則もないだろうと言われ、なかなか接続しない。下水道使用料と汲み取り費用では、金額も異なり、不公平感がある。	後ほど現場を見させていただきたいと思う。大潟区は、下水道接続率が非常に低い。本来であれば、全世帯つなげてもらえればと思うが、各家庭によって事情が異なる。接続してなくても条例で罰則はない。市に伝え、対応していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
43	R2.8.19牧区	牧区の小・中学校ともに子どもが減少し、この先どんどん減っていく。今後、各区で独自で、昔の山村留学などのような取組ができないか検討してほしい。複式学級へ通わせたくないということで、市街地の学校に通わせている状況であり、山村留学で中山間地の学校の子どもの数を増やせないか。	子どもの学びは、現在、少人数にという動きもあり、人数を集めれば良いということではないという考えもある。地域の活性化という意味で人を増やすということを含め、何ができるかという点は、市と議論しながら今後も委員会等で検討していく。来月に人口減少対策特別委員会ができるので、人口減少問題について協議していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：人口減少対策） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
44	R2.8.24合併前上越	当市は教育レベルが低いと感じる。経済的理由で勉強が思うようにできない子どもたちに塾の費用を支援し、助けて欲しい。上教大の学生たちが会場費は自腹で、毎週ボランティアとして塾に行けない子どもたちの勉強をみている。お年寄りももういいのでこれからを担う子どもたちにお金を使って欲しい。それが私たち世代の最後の仕事であると思う。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
45	R2.8.23大潟区	コロナ禍における臨時休業に伴い、子どもたちの学習が進まず、国では9月入学の検討が行われた。9月入学は見送りとなったが、私自身も反対である。4月入学は日本の四季にも合っており、変更して欲しくない。	9月入学については国が決めることであり、市で是非を決めることはできずお答えできない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
46	R2.8.23大潟区	コロナ禍における学びの保障への対応はどうか。	市では、消毒やマスクが学校や児童クラブなど様々なところに行き届くよう対応している。また、GIGAスクール構想の早期実現に向け、情報端末や通信機器の整備を進めている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
47	R2.8.20大島区	大島あさひ荘の建物がまだ残っているが、今後有効利用するのか。	地元から東京の企業へ譲渡してはという要望、提案があった。その後調査をしていく中で、しっかりと提案がされていなかった。昨年7月にサウンディング調査を行い、業者から相談はあったが、提案までは至らなかった。来年度から公の施設の再配置計画も始まる。地元の意見も聞き、しっかりと議論していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
48	R2.8.20大島区	大島あさひ荘の在り方については、採算性だけで判断するのではなく、地域の活性化、地産地消、雇用創出といった観点も含め総合的に判断してほしい。	市の財政事情がますます厳しくなっている中、福祉や教育などのサービスをきちんと守るため、公の施設についてはその施設が作られた経緯などをしっかり把握しながら判断していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
49	R2.8.20大島区	キューピットバレイスキー場の経過について詳しく知りたい。	後継の指定管理者については、2社から応募があり、6月定例会でスマイルリゾートに決定した。早期再開、継続的に運営（スキー場だけ運営、段階的に広げていく）など計画等を聞いても期待できる。温泉施設も経費のあまりかからない方法で計画しており、11月には久比岐野に機能集約する予定である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
50	R2.8.20大島区	キューピットバレイスキー場の指定管理者が決定した。指定管理者の選定は公募が基本であると思うが、今回は市が2社を選定した。この経緯を聞きたい。	今回は、早期に施設を再開することから、公募は行っていない。サウンディング型市場調査の中で、参加の意向を示した2社から応募してもらった。その後、指定管理者選定委員会で公正に審査、選定した。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
51	R2.8.20大島区	佐渡汽船の参考人招致で社長から判断が甘かったという話があった。佐渡汽船の乗り場に行ったが、GoToキャンペーンののぼりもなく、PRが弱いと感じた。小木直江津航路は、佐渡汽船だけの問題ではなく、佐渡市と上越市の問題でもある。国道なので捨てられない。「あかね」導入の経緯を聞きたい。	当初トリマランを検討していたが、最終的にはH25年カタマランに決定した。揺れ等のチェックも問題ないとのことだった。あかねを導入するとそれまで1日1.5往復だったのが2往復できるようになった。今後も動向を見ていかななくてはならない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
52	R2.8.20大島区	魅力あるまちづくりをして、全国から注目される施策を実施してほしい。小木直江津航路についての提案がある。国道350号ということで、海上自衛隊から潜水艦をレンタルして、客室に改装し、潜水しながら小木へ向かうツアーを開発してはどうか。また、現代版北前船として、太陽光で発電してモーターを回し、船内にカジノ等を用意するなど、エンターテインメントを加えた船にするとか、夢や希望が必要。	意見としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
53	R2.8.24合併前上越	上越市でも新しい産業振興をして欲しい。長岡市の磯田市長は熱心で、先駆的にやっている。起業支援センターを作り、大学生を中心に新しい事業の起こし方や起業の仕方をアドバイスしている。上越市のやり方は従来通り。議会でも長岡市を含め、調査・研究してほしい。高校・大学とも連携をとって欲しい。（要望）	重要な問題であり、議会においても新しい産業という点で議論している。新しい産業を提案する議員もいるが、なかなか形にならない。他市の先進事例等も更に研究し、今後も市に訴えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
54	R2.8.24合併前上越	当市は、グランドデザインがないと感じる。先進自治体の事例を学び、ポストコロナという状況を捉え、新しい産業を作って欲しい。長岡技科大の人など、新しい施策等を考えられる人を集めて実行して欲しい。	議員や議会に叱咤激励をいただいたと受け止めている。今回の意見に込められるよう議会活動に活かしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
55	R2.8.19牧区	牧では石油や天然ガスが出ていたと聞いた。エネルギーの地産地消により、地域内でお金が回るような活動を調査し、支援してほしい。	意見としてお聞きする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
56	R2.8.23大潟区	うみがたりのイルカ死亡について、ストレスによる抵抗力が弱まり、免疫不全で亡くなったと思われるが、水槽の設計業者はどこか。イルカに長生きしてパフォーマンスしてもらえよう、議会から水槽設計者に申し入れをしたか。イルカは、市が負担し購入したものか。	イルカの死亡について、現在専門家による検証が行われており、10月頃に結果が出ると思われる。まだ確実な話ではないが、検証委員会では水槽が外にあることも懸案事項として上がっていた。設計業者は、公募型プロポーザル方式により、日本設計に選定した。また、以前、総務常任委員会から市に徹底的に原因究明をすることと、原因がはっきりするまでパフォーマンスは慎重を期すことを伝えたが、真摯に対応されなかった。イルカは市で購入したものである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
57	R2.8.23大潟区	ジムリーナの建設に伴い、雨水対策として駐車場や建屋の排水路の整備工事が行われている。近所の床屋は、作業中の騒音が大きく、客が入らず業務に支障をきたしている。市から現場を見てもらったが、条例や規則がないということで泣き寝入りせざるを得なかった。なんとかならないか。	本来、長期工事をする際、近隣住民への事前の説明やお願いはしっかり行われるべきものである。工事時の市の説明のやり方も含め、どのように対応していくのか、今後もしっかりと市へ働きかけていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
58	R2.8.24合併前上越	高田城址公園に名称変更した。本丸を復元したいと思っている。高田城址公園及び本丸の復元等の将来的な整備のビジョンを作ってほしい。	高田城址公園の在り方については議会でも幾度か議論になっている。進め方としては、高田公園の中でエリア分けして整備を進めるなど総体的な計画の中で動いている。本丸や枳形門の復元に向けて動くべきという声も議会内でもあるが、史跡であり、法の規制もある。復元の動きを含め高田城址公園の整備・活用について今後の課題として市民が納得できるよう一つ一つ議論していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
59	R2.8.24合併前上越	地域の方とふれあえる朝市を議会として見て回って欲しい。	朝市については議会でも活性化に向けて議論をしている。ぜひ回らせていただき、今後も注視していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
60	R2.8.24合併前上越	市の新しい魅力として、本格的なボルダリング施設を作って欲しい。理由としては、新しいスポーツとしての人気が高い、高田の中心部には大人向けの施設がない、中高年の健康増進にもなる、若者にも訴求的であるといった点である。屋内でも楽しめる施設である。妙高市の「わくわくランド」を越える施設をお願いしたい。（要望）	要望として承り、議会活動に活かしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
61	R2.8.19牧区	早稲田大学のマニフェスト研究所における議会改革度調査2018年ランキングで全国の自治体で上越市議会は12位になっている。どういう議会改革を行い、成功しているのか。	毎年の意見交換会開催や小中学生の議会傍聴、議会モニター制度、テレビ等での議会中継などを実施してきた。昨年は、女性や若い世代の議員をとということで、女性フォーラムを行い、4月の選挙で7名の女性議員が誕生し、議会も変わりつつある。今もいかに皆さんにどう情報発信するか、寄り添えるかという点で議会改革を継続的に実施している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
62	R2.8.23大潟区	住民自治を進める会で3年前から会派の政務活動費の調査を行っている。視察研修に政務活動費が使われているが、政策立案に有用なのか市民目線ではよく分からない。議会事務局に聞いたら、報告書を見てくれと話された。例えば、昨年女性フォーラムが行われ、その結果今年は、7人の女性議員が誕生し、議会でも新しい風を吹かせたが、このフォーラムのように市民に分かりやすい形で効果が示されているのか。視察研修に行ったら、それについて市民と一緒に政策を考える場を作ってほしい。	会派の視察は、主に様々な課題を取り上げ幅広く議員の知識、あるいは行動のきっかけになるものを得るためであり、委員会での視察は、委員会が所管していることに関し、更に先進事例を見ることによって、内容を深く理解して政策形成にいかすために行われている。報告書は、それぞれ公開されている。視察で学んだことを政策に結びつけることは大切であり、市民へ報告する義務もあると思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
63	R2.8.24台 併前上越	議会はもっと立法機能を高め、条例を作っ て欲しい。この街にはビジョンがない。行 政は補助であり、実行は市民であるが、上 越がどんな街になるのかというビジョン・ 道筋がなければどう手を打ってよいかわか らない。市長でなくても議会でも良いの で、この街のビジョンを明確に示して欲し い。例えば雁木保全条例を作ることは議会 の仕事であり、意見交換の場を設けて頂き 議論していきたい。	意見、要望として承り、議会活動に活かし ていく。	<p>■ 1 委員会等で対応を協議（所管：議運） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p>□ 2 行政側に伝える</p> <p>□ 3 当日の回答どおり</p> <p>□ 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p>□ 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	議会基本条例において、市民の意見や 議員等の政策提言について、議会とし ての対応方針を協議するための課題調 整会議を置き、その結果として、共通 認識・政策等の形成を図るため、調査 検討を行う必要があると認めるとき は、政策形成会議を置くこととしてい ます。こういった仕組みを活用すると いった条例の制定等の立法機能を高め ていくための明確な方向性は、議会内 で共有しているところです。 また、上越市のビジョンについては、 基本的には行政が策定していくものと 認識していますが、議会としてもそれ ぞれの議員がビジョンを持ち、議会と して提言するなど市政に働きかけてい かなければならないと考えています。 いただいたご意見は、貴重なご意見と して承り、今後の議会活動にいかして いきます。
64	R2.8.20大 島区	（議員のいない地区においてどう意見を伝 えたらよいかについて）日常の問題は、ま ずは総合事務所や地域協議会へ話してはど うか。そこで納得できないようであれば、 議会ポストへ意見を出すことで、議会が対 応してくれるという仕組みになっていると よい。	ご意見としていただく。	<p>□ 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p>□ 2 行政側に伝える</p> <p>■ 3 当日の回答どおり</p> <p>□ 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p>□ 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	
65	R2.8.23大 潟区	議会だよりの発行部数と印刷代はいくら か。	議会だよりの発行部数は、市内全世帯約 75,000部で、年4回発行している。市議会の 広報印刷代は年間約380万円である。	<p>□ 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p>□ 2 行政側に伝える</p> <p>■ 3 当日の回答どおり</p> <p>□ 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p>□ 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	
66	R2.8.23大 潟区	議会だよりの全国コンクールに受賞した経 験はあるか。	これまで、コンクールには出したことがな い。	<p>□ 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する</p> <p>□ 2 行政側に伝える</p> <p>■ 3 当日の回答どおり</p> <p>□ 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）</p> <p>□ 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする</p>	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
67	R2.8.19牧区	牧は美味しい水やコメ、温泉があり、交通アクセスがよく、女性が活躍している町である。様々な団体や活動で女性の参加率が高い。市議会でも7人の女性議員が誕生し、会えるのを楽しみにしていた。ぜひ紹介してほしい。市でも、女性の存在感を出し、目に見える形でアピールしてほしい。（要望）	会場にいた女性議員から自己紹介を行った。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
68	R2.8.20大島区	もう少し密に、少人数で意見交換会を行ってほしい。堅苦しい所では誰も意見を出せない。	意見交換会については、会場や回数、やり方等を今後、広報広聴委員会で検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： 広報広聴 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	議会基本条例検証委員会の答申で議会報告会・意見交換会等の在り方の見直しが見られ、広報広聴委員会において検討を行ってきた。議会報告会・意見交換会については、意見の内容によって回答する担当議員が変わることから、少人数のグループに分けて実施することは困難である。今後は、定例的な議会報告会・意見交換会や各層との意見交換会の開催に加え、より一層の市民参画の促進を図るため、特定のテーマに絞った意見交換会を時制の下で開催していくこととしたい。
69	R2.8.20大島区	地域の声を届ける方法が必要。例えば選挙の在り方について、地域ごとに選挙区を分けるブロック制にするなど、住民の声を吸い上げる仕組みを検討してほしい。	区割りも1つの考え方。どうあるのが地域の声を届けられるのか、仕組み作りが大切。今後、議員の定数と合わせて検討していくことになるが、方向性は未定である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
70	R2.8.23大湊区	議会だよりについて、形式的な内容しか書かれておらず、読んでもさっぱり理解できない。何割の市民が読んでいるのかアンケート調査を行ったことがあるか。	議会だよりは文字数に限りがあり、一般質問は546文字以内であり、大事な部分しか掲載できない。詳細は、会議録やインターネット中継、議員個人の情報発信を見てほしい。また、以前市民へのアンケート調査を行ったが、散々たる結果だった。ページ数や文字数は増やせないが、より見やすい誌面を目指し、講習を受け、1ページ目に特集記事を掲載するなど努力している。まだ改善の余地があると思っている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
71	R2.8.23大湊区	請願案件について、賛成討論はあるのに反対討論は一人もなく、そのまま否決されてしまうのはおかしい。反対意見があるなら、その意見をしっかりと伝えるべきではないか。	本会議では採決しか見られないが、委員会内では各委員が意見を述べ、賛成反対だけでなく、意見集約が行われている。そこがしっかり見えるよう、改善の余地があれば検討していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
72	R2. 11. 6清里区	持続可能な財政運営について、財政調整基金が100億円から90億円に減るといった答弁を聞いたが、その後、健全な財政運営はできるのか。持続可能な財政にするにはどうすればよいか、議論してほしい。少子化・高齢化などの課題もあり、税収が減っていく中で、公の施設の再配置計画など総合計画にリンクさせ財政運営をしているが、見直しはどうか。	予算規模は、近年は1,100億円程度で推移してきたが、5年後くらいには900億円規模に下がる見通しである。理由の一つは合併特例債がなくなることであり、今後、財政はますます厳しくなる見通しである。その対策として、税源の涵養や、特別委員会において人口減少対策などについて議論している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
73	R2. 11. 6清里区	市の決算概況(1)の71ページにある健全化判断比率等の表記について、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は黒字などで横線だけ引いてある。良いことだが、経常収支比率や経常一般財源比率などが表記されていない。あればもっと分かりやすい。	確かに分かりにくいので、行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 実質赤字比率をはじめとした健全化判断比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定し、その結果を公表しているものであり、ご意見の経常収支比率や経常一般財源比率は同法に基づき公表する比率ではないことから、同じページに併記することはないと思います。なお、経常収支比率や経常一般財源比率は、地方財政状況調査（決算統計）に関する指標として、令和元年度決算の概況（1）の86ページに記載しています。（財政課）
74	R2. 11. 6清里区	防災対策の市の部署について、牧区と中郷区はなぜ板倉区に集約されたのか疑問である。もう少し知恵を絞るべきではないか。	牧区と中郷区の防災業務が板倉区に集約されたのか、合理性はあるのか、行政の見解をたずねます。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 消防防災、危機管理等の防災業務は、各区総合事務所の総務・地域振興グループが所掌しており、集約していません。 なお、災害発生時の迅速かつ機動的な対応等を目的に、産業建設グループについては、地形・地勢等を踏まえて市全域を4つのグループに設定した上で、総合事務所間の平均距離が最短になるなど、集約の合理性や客観性が高い区又は木田庁舎担当課に業務を集約し、平常時から多人数で対応できる体制を整備しています。（人事課）
75	R2. 11. 6清里区	原子力災害における避難所について広域的な避難を想定しなければならず、上越市だけの防災訓練だけではだめである。総合的な防災対策を取らなければいけない。	柏崎刈羽原子力発電所から5km以内をPAZ、上越市の一部を含む30km以内をUPZとしてそれぞれ対策がなされている。市は地域防災計画の原子力災害対策編を基に市内UPZ区域の対応として、事故発生時には屋内避難としているが、災害発生時にこの計画がいかされていくのか、実情に合わせた計画を作る必要がある。議会としてもしっかり対応していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	



令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
76	R2. 11. 9吉川区	田尻ふれあいセンターのそばに消防の乾燥塔があるが、撤去を市に要請しているが、予算の都合なのか、そのままである。NTTから公衆電話設置の話もあり、携帯電話よりも災害に対応できることから設置する予定であるが、駐車場の真ん中に塔があり、非常に不都合である。スクールバスの乗降場にもなっているのが邪魔にもなる。総合事務所に言っているが、何年も前から撤去の申請をしているが、何年待ちなのか。	どのような状況になっているか、調査したい。後ほど、詳しい場所を確認したい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 町内会からは令和2年春に要望を受けており、現地確認の上、当該ホース乾燥塔は現在消防団で使用していないことから、令和3年度中に撤去する方針としています。（危機管理課）
77	R2. 11. 11三和区	現在でも三和区では特別消防団員が存在している。特別消防団員について、市は現在その制度は運用していないということだが、どうなっているのか。また、災害時、住民の消火栓の取扱いについてはどうすればいいのか。	市の答弁では、消火栓は扱えないとしている。いざという時に使えるように前向きに提案していくことは必要と考える。人手不足の中、今後地元が安心できるのであれば、話をしていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：所管：総務 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	当日の回答に加え、以下のように回答申し上げます。 まず市の現在の方針を説明いたします。 特別消防団員については、平成27年に三和区だけではなく、名立区、柿崎区などでも募集していました。しかし応募者が少ない等の理由から、今は三和区以外には特別消防団員は存在していません。現在、市としてはすでにその制度はないと認識しています。また、特別団員の制度を停止したと正式には通達等していませんが、改めて周知する考えは持ち合わせていないとのことです。 消火栓の取扱いについては、専門的技術がないと危険であり、消防団員に限るのが市の基本的な方針です。次に市議会としての考え方をお伝えします。 全市的に消防団の人材不足という問題を抱える中、地域住民の皆さんの安心安全につながるのであれば、特別消防団員、あるいはそれに類した制度の活用を検討していくことが必要と考えます。消火栓の取扱い、ホース格納庫の維持管理等具体的な課題もその中で検討すべきと考えます。 市議会といたしましては、これからの消防団のあり方を長期的視野で検討し、行政に提案していく所存ですのでご理解ください。
78	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	4月から地域協議会委員になった。地域協議会委員の任期を変えていただきたい。4月に改選してすぐに、前任者の審査基準を基に採択の審査をするのは難しい。例えば12月改選等にしてはどうか。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 地域協議会委員の任期は、地方自治法によって4年以内の期間とされており、選任投票の効率化に鑑み、委員の選任投票を市議会議員選挙と同日に行うため、任期を令和2年4月29日から4年間としています。改選後の委員による1年目の審査にあたっては、採択方針や審査基準等の事前説明を丁寧に行い対応しており、今後も1年目となる委員ができるだけ十分な理解の下で審査に励むことができるよう取り組んでいきます。（自治・地域振興課）

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
79	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	かがやきが上越妙高駅に停車することを期待はしているが、現状では不可能だと思う。そうであれば、長野まで来ている「あさま」を延伸してはどうか。	かがやきを停車できる可能性もあると考えているが、今後議会としても議論していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
80	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	マイナンバーカードはなぜ浸透していないのか。市民が制度を活用できるよう、議会としても市に対して働きかけてほしい。	広報上越でもマイナンバーカードのメリット等をお知らせしている。9月定例会の委員会では、何が便利なのかを市民にもっと分かりやすく伝え、来庁時に気軽に申請ができるような工夫をするよう、市に求めた。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
81	R2. 11. 9吉川区	県立柿崎病院の統廃合問題だが、他市の病院に比べ、市長や市議の動きが鈍い。命を守ることは何よりも大事であり、へき地病院については赤字なのは当たり前であり、経済原理を導入するというのは間違いだと思いが、どのような認識か。	コロナ禍を受けて国の考え方も変わりつつある。センター病院も含めて、医師会とも意見交換を行う予定であり、議会としての議論を進めたい。赤字のままというわけにはいかないが、地域医療を担う病院はなくてはならない、市として大切な病院であると思っている。その意識は共有していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 県立柿崎病院について市が経営主体等になることは財政負担や医師確保の面から困難であるとの考えは、県に対し既にお示ししているところです。この間、昨年1月の県病院局経営企画課長来庁時には健康福祉部長が、8月の県病院局次長来庁時には副市長が対応し、それぞれ当市が経営主体等となるのが困難であるとお伝えしたとともに、10月には福祉部長が県病院局に赴き、引き続き県による運営体制が維持継続されるよう、市として改めて要望したところです。（地域医療推進室）
82	R2. 11. 9吉川区	イノシシ被害に困っている。対策実施隊は何人か。	実施隊員は約80人である。免許取得の補助を行っている。令和元年度の実績として、「わな」は14人、網は2人、銃は9人に補助している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
83	R2. 11. 9吉川区	今後、イノシシは多産とのこと、その対策はどうするのか。	農林水産省によると約200～300万頭のうち、50～60万頭を処分している。頭数制限は難しく、国も困っているようである。処分しても間に合わないようである。全国的な課題であり、県といかに連携するかが課題である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
84	R2. 11. 9吉川区	有害鳥獣が生息しにくい環境づくりはどうするか。780kmの電気柵の大半は柿崎と吉川である。このまま増えると困るので、対策はないか。	有効なのは「わな」であり、子連れで連鎖的にかかる事例もある。何が有効な手段かを試行錯誤しながら行政とともに取り組んでいきたい。清里ではクマの人的被害もあったため、しっかり取り組んでいきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 これまでの通年での有害鳥獣捕獲や電気柵の設置のほか、令和2年度からは新たに鳥獣被害対策実施隊を組織し、主に農作物被害が発生しやすい夏季において、地元集落との連携の下、農地周辺に出没する個体の捕獲強化に取り組んでいます。また、里山の管理が行き届かず鳥獣の生息場所となっている等の指摘もあることから、森林整備との連携を図り、生息地から農地や住宅地周辺への移動ルートを遮断するための緩衝帯の整備等に引き続き取り組んでいきます。（環境保全課、農村振興課、農林水産整備課）
85	R2. 11. 6清里区	清里区でもクマによる人身被害が発生した。県もクマ出沒特別警報を発令し注意喚起を図っている。市としても効果的な対策をお願いしたい。	クマはどこにでも出沒する時代になった。対策を強化するよう市に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 クマの生息域と人の生活圏を区分するため、目撃件数の多い中郷区や名立区において、生息地から住宅地周辺へ移動するルートを遮断する電気柵の設置や緩衝帯を整備した結果、整備前と比べ目撃件数が減少しており、今後も森林整備との連携を図りつつ、クマの出没が多い地域での整備について検討していきたいと考えています。また、クマやイノシシの生態に関する学習会や広報紙などを通じて、住宅地周辺に誘引しないための方策や被害に遭わないための取組など、鳥獣被害に対する意識啓発を図り、地域の皆さんと連携しながら、地形や出沒状況に応じて総合的かつ効果的な対策を行い、人身被害の防止に努めていきます。（環境保全課）
86	R2. 11. 9吉川区	鳥獣被害について、イノシシやクマが人里にやってくる原因はいろいろだが、山の荒廃を改善することが大事と考える。森林環境譲与税の制度もあり、山を整備することが被害を減らす手立てになる。糸魚川では地権者と相談して既に取組を進めていると聞いている。税を利用し、里山整備を鳥獣捕獲とともに進めてほしい。せつかく1人年間1000円を払うのだから見返りとして効果があるように行政とともに協力して活用してほしい。	明後日も桑取地区で森林に関わる管内視察を行い、勉強する予定であり、行政とも協力して取り組んでいきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する  <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える  <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり  <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ）  <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度に基づく取組を順次進めています。令和2年度には、森林経営に関する意向調査について、未整備森林の中から1地区（吉川区内約30ha）を対象に実施しています。今後、経営管理権を取得し、順次森林整備を進めていく予定です。当該取組等により森林整備（主に間伐）を進めることで、森林の見通しが改善され、大型鳥獣が出没しづらい環境づくりに寄与するものと考えています。（農林水産整備課）

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
87	R2. 11. 11 三和区	三和区では、鳥獣被害は少ないが、中郷区岡沢で山林の手入れをしたところ、鳥獣が出なくなったと聞く。林業や山林等を中山間地とセットで保全していく政策があっても良いのではないかと。	ご意見の内容については、まさに鳥獣被害に関係してくると思う。今後、森林環境税も一人一人課されるようになるので、そういった取組に活かしてもらえるよう提案していきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：農政建設） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	委員会での協議した結果、当日の回答のとおりとする。
88	R2. 11. 11 三和区	自分の町内会では、補助金をもらって県道の除草を行っている。市道でも除草剤を使用することはできないか。	今のところ、市では除草剤の使用は認めていない。草刈りの人手が減っていることも理解している。県と市の取り扱いが違うことについては、前々から議論が行われている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
89	R2. 11. 11 三和区	大型箱物の整備だけでなく、人々の生活に密着した市道の整備をしてほしい。三和区井ノ口に障害者施設ができたが、周辺の道路整備がきちんとされていない。	道路整備に関しては、要望が多く、優先順位をつけて整備を進めている。命に関わること、また財産に関わるのが優先されるのが現実である。道路整備計画は、点数で評価しているが、利用が少なくても中山間地など必要なところを加点しているため、地元の声を挙げてほしい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 当市の道路整備は、令和元年12月に策定した「上越市道路整備計画」に基づき、計画的に進めています。 ご指摘の箇所については、要望路線の一つとして、他に寄せられた要望路線と共に整備の必要性を評価しましたが、結果として別の路線を先に整備していくこととなり、道路整備計画には記載できませんでした。令和6年度に行う次期整備計画の策定時に改めて評価していく予定です。（道路課）
90	R2. 11. 11 三和区	農地の荒廃、後継者不足が課題と考えている。農業問題について、議会も含め全体でしっかりと議論していただきたい。	ご意見として承る。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：農政建設） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	委員会での協議した結果、当日の回答に加え、今後も農業従事者や農地の現状を把握するとともに、国・県との連携も含め、当委員会の課題として、各委員の共有課題としていくこととする。
91	R2. 11. 8合 併前上越 市（直江 津）	今年のコメの出来はどうだったのか。コメの質はどうだったのか。	今年は、収量は多く取れていると聞いている。コメの質も良かったと聞いている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
92	R2.11.8合併前上越市（直江津）	11月1日に天王川クリーンアップ作戦を実施し、たくさんの市民に参加いただいた。市道が冠水することもあり、市の雨水管理総合計画では、側溝の清掃や土砂の詰まりなどは、ソフト事業として住民が率先して行うとある。本来、清掃などは行政が計画的にやるべきではないか。	ご要望として承り、行政に伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 天王川については、市で土砂溜ピットの清掃を毎年計画的に行うとともに、施設の老朽化に伴う修繕も適宜実施しています。草刈りやごみ拾い等については、市で全ては対応できないことからボランティアの皆さんの協力を得ながら、クリーン活動には市の担当者も参加し、天王川の維持管理に努めています。 市としましては、引き続きボランティアの皆さんの活動と連携しながら、天王川の適切な維持管理に努めていきます。なお、地元で対応が困難な事案などについては相談してください。（生活排水対策課）
93	R2.11.8合併前上越市（直江津）	公の施設の統廃合について、8月25日の地域協議会で「市民いこいの家」の状況に関する資料をいただき、令和4年3月末で廃止することを知った。当施設は、ふれあいと健康増進のために設置されている。市は利用状況調査アンケートを取ったが、71名で調査対象が少ない。統廃合を決めるに当たっては、利用状況だけではなく、市民がその施設を必要としているのかなどを含めて、市民からもっと意見を聞いてほしい。	行政のアンケートの取り方に問題があると整理させていただき、ご意見として承る。今後もしっかりと取り組んでいく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 入浴者の利用実態を把握するため、7月に調査を実施し、入浴された方の約8割に当たる71人から回答いただいたところです。 その後9月から11月にかけて、公の施設の適正配置の取組の背景を含め、利用者と廃止について話し合いを行い、大半の方から理解を示していただいたと認識しています。 引き続き、利用者や市民に取組の背景を含めた温浴の機能廃止について説明し、理解と納得を深めていただければ、丁寧な対応に努めていきます。（福祉課）

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
94	R2. 11. 9吉川区	公の施設の再配置の方向性案が示された。公民館にどのような認識を持っているか。市内に公民館はいくつあるのか、耐用年数や状況を把握しているか。地域によっては市から借りる方法もあると言うが、避難所でもあり、地域活動の拠点でもある。地域のコミュニティの場として、長期的に活動できるように修繕費などの建物の管理に伴う費用は市が持つべきと考えるがどうか。	公民館は地域の学習活動や地域活動の拠点でもあると認識している。旧市の公民館は13か所あり、各区はそれぞれ地区館とその下に分館がある。耐用年数は個々に異なるので、一概に答えるのは難しい。以前、公民館の運営の基本方針が示された。避難所にもなっているので、この建物を残しながら地域の活性化に役立たせたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 この度の公の施設の再配置に関し、教育委員会では、地域に根差した活動の拠点がなくならないようにする必要のあることを踏まえ、施設を地域にお貸しするという方向性を整理したものです。しかしながら、施設は旧小学校の体育館や校舎など比較的規模の大きい建物が多く老朽化も進んでいること、その利用内容も各施設様でないなど、状況は様々です。施設をお貸しすることに伴う光熱水費を始め、利用状況に応じた実費負担などについては、施設ごとに、利用される地域の皆さんと十分な協議を重ね、過度な負担が生じないような対応をしていく必要があると考えています。 （社会教育課）
95	R2. 11. 9吉川区	吉川は旧小学校が公民館の分館になっており、複数の町内会が分館で公民館活動などを行っている。市は、地域と協議しながら廃止、譲渡、貸し付けの選択を提案しているが、譲渡は建物の処分費用が出せないのでありえず、貸し付けにしても実際には難しい。廃止となるとこれまで築いてきた地域の拠点がなくなり、地域活動ができなくなる。個々の町内会には集会所があると言われるが、公民館とは性質が異なる。町内会長は了解してしまったようであるが、公民館を普通財産にするととなると、今までと違って使用料がかかる。避難所にもなっていることから、建物が残るといっても普通財産になればこれまでと全く異なる。地域のつながりが切れてしまう。	委員会でもかなりの議論になった。以前の方針では、30年間は存続するが、小中学校区の通学域に分館及び地域生涯学習施設がある場合は廃止としている。また、高齢化率が高い地域で、統合後の小学校が離れており、集会所の代替施設がない場合は、30年経過後も必要があれば存続するとしている。吉川の各分館などは市も心配している。公の施設の再配置の方針では、廃止とはしておらず、令和7年までに検討していくとしている。公民館として残せるよう必要性を主張すれば残せるのではないか。市の基本的な考え方は、どこにいても等しく行政サービスを受けられるようにすることであり、特殊性を認められるかどうかである。合併から長い年月が経ち、必要かどうか問題となるので、皆さんからも必要性を主張してほしい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 これまでの関係地域の皆さんとの話合いの中で、地域では地域振興のために施設を引き続き活用したいとのご意向をお持ちであり、地域にとっては必要な施設であるとの話を承りました。これを受けて、教育委員会としましては、地域に根差した活動の拠点がなくならないようにする必要のあることを踏まえ、施設を地域へお貸しするという方向性を整理したものです。各地域では生涯学習センターや公民館分館としての名称、位置付けをなくした後もその活動の拠点として、施設を継続的に利用いただけることとなります。 （社会教育課）
96	R2. 11. 9吉川区	協議会としても説明を受けた。公民館の看板を下ろし、普通財産になると聞いている。令和7年までは使用するのだから、耐震診断や何年もつかなどの調査も市が行うべきと思うが、その議論はなく、譲渡や貸付の合意となっている。吉川では旧小学校区単位で行事が行われ、市街地とは状況が異なる。地域協議会への諮問がいつおきてきて、どのくらい時間をかけられるのか分からない。集会所があると言う人もいるようだが、目的が異なる。これまでの流れは納得していないので、地域協議会としてもこれから頑張る。	市に確認したが、廃止するとは言っておらず、集会所なのか公民館なのかを整理し、分館という看板は下ろさず、譲渡もしくは長寿命化していくとのことである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 これまでの関係地域の皆さんとの話合いの中で、地域では地域振興のために施設を引き続き活用したいとのご意向をお持ちであり、地域にとっては必要な施設であるとの話を承りました。これを受けて、教育委員会としましては、地域に根差した活動の拠点がなくならないようにする必要のあることを踏まえ、施設を地域へお貸しするという方向性を整理したものです。各地域では生涯学習センターや公民館分館としての名称、位置付けをなくした後もその活動の拠点として、施設を継続的に利用いただけることとなります。 （社会教育課）

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
97	R2. 11. 11 三和区	公の施設の再配置について、利用実績だけで存廃を判断すると、地域差が出るのではないかと。施設には避難所など他に大切な場所としての役割がある。議会では、市からどのように聞いているのか。	総合計画において地域拠点等が区別されることはあるが、地域差が出ないように、バランスが取れる形で公の施設の適正配置をしようとしている。議会としては、数字だけで判断するよりも住民目線に立ち、施設の在り方をしっかりと考え、提案していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 公の施設の適正配置計画の策定に当たっては、公費投入をはじめ、公共関与の必要性や配置状況のほか、施設の利用状況や老朽化度等の観点から、総合的に勘案し検討した各施設の方向性について、利用者を始めとする関係者や地域の皆さんにお示しし、説明と協議を重ね、理解を得ながら進めてきました。 今後、適正配置の取組を進めるに当たっては、施設の設置目的や利用状況、運営状況等の現状を踏まえるとともに、地域住民の皆さんの声を聴く中で、互いに知恵を出し合い、理解と納得を得ながら進めていきます。（行政改革推進課）
98	R2. 11. 6清 里区	学校の統合について学校施設の長寿命化と言っているが、そもそも人口減少で学校が存続できるかどうかのほうに心配である。区域を越えた学校の統合も考える時期にきているのではないかと。例えば、隣の高土小は複式学級になっている。話は出しづらいたらうが、議会の中でも話しているのか。	議員として話は出しづらいところであるが、委員会では審議している。地元で検討し、声を出し合意を得ていくことが大事である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 子どもたちが一定規模の学習集団の中でかかわり合って学ぶことができるよう、複式学級の解消を重点課題に掲げ、各校の実情に応じた解決方策（学校統合等）を検討しています。 学校統合では、地域自治区の枠を超えた統合についても検討が必要になると考えています。（教育総務課）
99	R2. 11. 11 三和区	以前、地域協議会の自主的審議事項で三和区内の小学校のあるべき姿について議論し、教育委員会からも返答をもらったが、その後全く話が出てこない。議会では議論しているのか。	文教経済常任委員会では、三和区の小学校再編の話は出ておらず、学校の再編についての計画も市から情報は出ていない。市では、適正配置の基準があり、まずは複式学級のある学校から見たいこうとしている。大事な問題なので、しっかりと注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
100	R2. 11. 11 三和区	米本陣の経営責任をどう認識しているのか。また、サウンディング型市場調査を実施したと聞いているが、委員会で説明があったのか。	米本陣のサウンディング型市場調査については、委員会での説明があった。どこかで決着させなくてはいけないと思うが、単に赤字だから廃止という結論にはならない。地域に必要なものは、地元任せたいという市の意向もあるのではないかと考える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
101	R2. 11. 11 三和区	Jーホールディングスによる施設経営について、効率化が図られているのか疑問である。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 Jーホールディングスグループとして、これまで共同広告や共通利用券などによる売上増加策を実施してきました。また、灯油など一部商品の共同仕入れや人員の流動化等による経費削減策も講じてきましたが、十分な成果が出ていません。 市といたしましても、今後も関係各社と情報を共有し、経営健全化の取組を促していきます。（施設経営管理室）
102	R2. 11. 8合 併前上越 市（直江 津）	小中学校のタブレット導入について、契約できる企業は何社くらいあったのか。また、決定のプロセスはどのようなものだったのか。	契約可能な企業数についてははっきりと分からないが、入札の状況は、それぞれの地区において20社が入札に参加している。決定の過程については、コロナ禍の中で一刻も早いタブレットの導入を目指し取り組んだ。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
103	R2. 11. 8合 併前上越 市（直江 津）	GIGAスクールの将来構想はどのようになっているのか。タブレット端末の耐用年数はどのくらいなのか。家庭への持ち帰りはしないのか。教え方や学び方について、議会としてどのくらいモニタリングしていくのか。上越市としては、どのような使用を考えているのか。	将来構想については、教育における大きな取組としてのGIGAスクール構想であり、新型コロナウイルスの影響によってそれが前倒しとなった。今後、タブレット活用について取り組む必要があり、研修等を通して教員のスキルアップを図っていく。耐用年数についての情報は持ち合わせていないが、家庭への持ち帰りは、家庭におけるWi-Fi環境の整備や使用方法の策定など、実施すべきことは多く、すぐに持ち帰ることは難しい。文教経済常任委員会では、附属中学校のタブレット活用の様子を視察したが、このように実際の活用事例もあるので、それらも活かしながら発展させていきたい。今後の使用については、今年度中にタブレット端末が配備される予定であり、新年度から活用する予定であるが、有効活用について今後も注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
104	R2. 11. 8合 併前上越 市（直江 津）	直江津の地域活性化について、うみがたりや無印良品がオープンしたり、D51が来たりしている。良い要素を連携させながら、地域活性化して行ってほしい。	地元議員も連携しながら取り組んでいる。ご意見として承り、今後も力を入れて取り組んでいきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	



令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
105	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	来年、上越市が誕生して50周年を迎える。地域として盛り上げていきたいと思い、様々な計画をしている。行政側からも財政支援をお願いしたい。	ご要望として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 市においては市政50周年を祝うようなイベントの開催は予定しておらず、市民の皆さんが行う事業に対する補助制度の創設についても予定しておりません。 身近な地域の課題解決や活力向上を図るため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動に対して支援する地域活動支援事業の実施を予定しておりますので、各区にあります総合事務所やまちづくりセンターへご相談いただくなど、同事業の活用を検討ください。（総務管理課、自治・地域振興課）
106	R2. 11. 6清里区	デジタル化社会の課題についてスマホなどの普及により便利になったが、SNSによるいじめやゲーム依存症のほか、感情的になったり能力が低下したりする面もあり、一長一短ある。デジタル化社会で人間が豊かな暮らしをするには、情報環境をどう整備していく必要があるか。	ご意見を受けて議会の中でも議論していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
107	R2. 11. 9吉川区	東田中分館は旧東田中小学校の体育館であり、牧区の川上笑学館と同じような構造の体育館であるので、文化財として貴重な建物である。重要な建造物であることを認識してほしい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 令和2年12月17日に建物の構造等を確認しましたが、改変等があり文化財の指定は困難と考えています。（文化行政課）
108	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	直江津安国寺の雁木が古く、道もデコボコになっている。こういった補助制度があるのかが分からない。人にやさしいまちづくりをするなら、雁木についても議会としてしっかり議論してほしい。	ご意見として承る。議会としても積極的に取り上げて議論していきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管：総務、厚生、農政建設、文教経済） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
109	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	国はカード決済やスマホ決済を推奨しているが、詐欺などの危険もある。また、カード決済等の導入には、高齢者と若者の間で受ける恩恵に不公平感がある。市民全体で公平に恩恵を受けられないか。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 国の施策であり、市として関与できないものと考えます。 電子決済は、現時点では普及率は高くありませんが、国を挙げた普及・啓発活動等により、今後利用が拡大することが見込まれることから、市としてもその利便性等を広く市民の皆さんに周知することで、普及を図っていきたく考えています。（産業政策課）
110	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	新型コロナウイルス対策として、生活困窮者や高齢者、障害者だけでもプレミアム付き商品券を無料で配布できないか。	新型コロナウイルス対策については、全国でいろいろな取組がされている。上越市ではどのような取組が必要かを考えて、今後も検討していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
111	R2. 11. 11三和区	子どもの通学路について、L字側溝の上を歩いたり、傘を差した時に外側線からはみ出たりして危険である。特に冬期は、積雪により歩くスペースが狭く危険である。点検をしっかりとってほしい。	市でも通学路の安全確保は、最優先に取り組んでいる。危険な場所があれば、是非声を挙げてほしい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年1月時点)】 各学校においては、登下校時における交通安全指導の徹底を行うとともに、毎年「上越市通学路安全対策プログラム」に沿った点検と対策を行っています。また、市では、各校での安全点検の結果を受け、学校関係者、国・県・市の道路管理者及び交通安全関係者により、実際に現地を確認する合同点検を実施し、この検討結果に基づき通学路の安全対策を講じています。引き続き、通学路における児童生徒の安全対策のより一層の充実を図ってまいります。（学校教育課）
112	R2. 11. 6清里区	議会だより「かけはし」について外来語など一般市民が理解しづらい用語が散見される。解説を付けるなど、改善できないか。例えば、「ユニバーサルデザイン」「GIGAスクール」「CAP」「コミュニティ・スクール」などである。	広報広聴委員会または議会改革推進会議で検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： 広報広聴 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	議会だより「かけはし」の編集に当たっては、これまでも行政用語や専門用語を分かりやすい言葉に置き換えたり、注釈を付けたりするなどしており、今後も「分かりやすく」、「読みやすい」広報誌となるよう引き続き取り組んでいく。
113	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	南本町3丁目の景観まちづくり活動は、国の補助金があったから実施したものであり、議会だよりに掲載する場合は、そういったことをきちんと分かるようにしてほしい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等に対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

令和2年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
114	R2. 11. 6清里区	議員定数の削減について昨年度までに議員定数・報酬等の在り方について検討されたが、定数の削減は実現しなかった。改選間際になると言いづらいため、早いうちにやる必要があると思うが、動きはあるのか。定数を4常任委員会×7人=28人にし、削減した部分を報酬の増額に回してもよいのではないか。	議員定数については、減らしてほしいという意見と、維持してほしいという意見がある。市域が広く、議員がいない区もあるといった事情も考慮しなければいけない。委員会による検討が終わって間もないので、またすぐに立ち上げるのも難しい。タイミングをよく見極める必要がある。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
115	R2. 11. 11三和区	上越市まち・ひと・しごと創生長期ビジョンでは、当市の人口が減少する推計が出ている。人口が減少する中、市では行政改革を進めているが、議会では4年後の改選を見据え、議員定数報酬についてどのように取り組んでいくのか。	議員定数と報酬は、そもそも考え方が違う。それぞれどのくらいがいいのかを話し合う必要がある。議員が選出されていない区もあり、人口減少の現状とあわせて考えていかなければならない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
116	R2. 11. 8合併前上越市（直江津）	一般質問で取り上げる題材について、専門分野や得意分野で質問をしている議員が多いが、もっと市民の声を聞いて地域に関することを質問するべきではないか。例えば、ライオン像のある館を造った時、行政が市民に対して意見を聞く機会があったが、地域で話題になることはなかった。小林古径邸についても、なぜ上越に設置しているのか、と思うこともある。このように地域の課題はたくさんあるので、一般質問でも取り上げて欲しい。	ご意見として承り、議員全員で意識していくようにしたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
117	R2. 11. 9吉川区	議員、地域協議会委員、町内会が連携することが大事である。今後とも互いに協力をお願いしたい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
118	R2. 11. 11三和区	請願について、委員会では賛成の立場を示しても、本会議では反対の立場を示す議員がいる。議員個人の意見はあっても、会派としての意見になると、賛成から反対に変わることがあると聞く。個々の意見にしばりを入れてはいけないと考える。会派の在り方について、改善すべきことがあるのではないか。	議員・会派のいろいろな考え方で取り組んでいる結果である。議員それぞれの思いで活動をしているが、1つのグループを作っていくことで良い面もある。大きく動いていく利点も個々で動く利点もあると考える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 5 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	